



**MORITA GROUP**

人と地球のいのちを守る

株主・投資家のみなさまへ

## 第83期 報告書

2015年4月1日 ▶ 2016年3月31日

証券コード 6455

B u s i n e s s R e p o r t

### Top Message ●ご挨拶

当社は、明治40年(1907年)に社名の由来でもあります森田正作氏が、わが国で初めてのガンリンエンジンによる消防ポンプを完成させ、創業した会社であります。

以来、実に100年以上にわたって、消防車のトップメーカーとして、わが国の消防技術発展の歴史とともに歩んでまいりました。

これもひとえに関係各位からの温かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

また、当社は、生命・財産を火災から守るというテーマに加え、緑豊かな自然環境を生活汚染から守るという最大

のテーマに挑戦すべく、リサイクルプラント、ごみ処理機器、環境保全車両等の環境分野への進出も果たしてまいりました。

今後は、さらなるグローバル展開を視野に入れ、安全・安心を提供できる企業を目指してまいります。

「人と地球のいのちを守る」という大きなスローガンを掲げて日夜邁進しておりますので、これからもたゆまぬ努力と新技術で皆様の生活を守る「モリタホールディングス」にご期待ください。

代表取締役会長兼CEO 中島 正博

代表取締役社長 尾形 和美

### 第83期の概況



当連結会計年度におけるわが国経済は、政府や日銀による経済・金融政策により企業業績や雇用環境の改善など、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中国をはじめとする世界経済の減速に加え、年初以降は円高・株安が急速に進むなど、不安定な金融市場の影響により、景気は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは持続的成長を目指し、積極的な営業展開に加え、原価低減の推進を図るとともに、新製品の開発に取り組んでまいりました。また、消防車両事業のグローバル展開を加速させるため、2016年1月29日にフィンランドのBRONTO SKYLIFT OY AB

(ブロント スカイリフト社)を子会社化いたしました。

このなかで、主に消防車両事業の国内需要が端境期となったこともあり、当連結会計年度の売上高は、前期比3,368百万円減少し、68,574百万円(4.7%減)となり、営業利益は、前期比722百万円減少し、7,517百万円(8.8%減)、経常利益は、前期比252百万円減少し、8,123百万円(3.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却損600百万円、投資有価証券評価損572百万円を計上したこともあり、前期比172百万円減少し、4,537百万円(3.7%減)となりました。

## さらなるグローバル化を目指し、フィンランド消防車両メーカーを買収

### 消防車両事業

北欧フィンランドのタンペレ市に本社を置く、BRONTO SKYLIFT OY AB(ブロント スカイリフト社)を2016年1月29日付で当社の100%子会社といたしました。モリタグループは、さらなるグローバル化を目指しスタートいたしました。

同社は、屈折はしご付消防車(CPL=Combined Platform Ladder)の世界トップブランドとして、欧州はもちろん、世界100か国以上で販売ネットワークを構築し、事業展開している会社です。CPLは、ブームの横にはしごが付いた車両で、高所からの消火、救助ができる製品であり、中には112mの製品もあります。

今回、当社グループへ迎え入れることで、消防車両事業のグローバル展開を加速することが可能になるとともに、当社グループが持たないCPLの技術を獲得する等の補完効果が期待

でき、シナジー効果を発揮することで持続的成長、企業価値のさらなる向上に努めます。

#### BRONTO SKYLIFT OY ABの概要

創 業	1938年
所 在 地	フィンランド共和国 タンペレ市
従業員数	約400名
主要製品	屈折はしご付消防車(CPL)、 高所作業車



CPL(屈折はしご付消防車)

## パッケージ型自動消火設備Ⅱ型「スプリネックスミニ」を発売

### 防 災 事 業

～消防法の改正により義務化された小規模福祉施設への設置に対応～

モリタ宮田工業は、延べ床面積275㎡未満の小規模福祉施設において、スプリンクラー設備の代替として設置可能なパッケージ型自動消火設備Ⅱ型「スプリネックスミニ」の受注生産を本年4月1日より開始いたしました。

建物火災での犠牲者の6割以上は、逃げ遅れによるもので、その半数以上が高齢者です。社会福祉施設においても多数の死傷者を伴う火災が多く発生したことを受け、消防法が改正されました。

小規模・大規模に関わらず、介助がなければ避難できない高齢者・障害者が多く入居する施設のスプリンクラー設備の設置が義務化され、既存の建物においても平成30年3月末までに設置する必要があります。

「スプリネックスミニ」は延べ床面積275㎡未満の小規模福祉施設において、スプリンクラー設備の代替としての設置が認められており、これまで27年間で福祉施設や病院等に約2,500件の導入実績を持つ「スプリネックス」を、コンパクトに設計した自動消火設備です。

#### 【スプリネックスミニの特長】

- 素早く感知・消火  
(2種類の感知器で火災を感知、初期火災のうちに消火)
- 水の4倍の消火性能により消火
- 断水・停電・凍結に強い(本体内に消火薬剤を貯蔵し、断水時でも安心。リチウム電池式で停電時も消火可能)
- 省スペース、簡単工事、点検・取り外しが簡単  
(複雑な配管工事が不要)
- 消火後の水損が軽微



「スプリネックスミニ」シリーズ

## 回転式塵芥収集車 Pack Master(パックマスター)をフルラインナップへ

### 環境車両事業

モリタエコノスは、このたびフルモデルチェンジした「小型ワイド車・中型車の回転式塵芥収集車 Pack Master (パックマスター)」を開発し、販売を開始いたしました。

Pack Master(パックマスター)は、ごみ収集の効率化と安全性の改善・負担軽減を目指した回転式塵芥収集車シリーズです。現場ニーズの本質にある実用性・安全性を追求することで、この洗練されたフォルムデザインが誕生。従来の作業車両のイメージを払拭する機能美が生まれ出す「美しさ=力強さ・清潔感・信頼感」で塵芥収集車の新しい指標を創造しました。

また小型車の圧縮式塵芥収集車 Press Master(プレスマスター)の新モデルも開発し、今秋発売の予定です。

今後もお客様の声を大切にし「より安全に使いやすく!」を追求してまいります。

#### 【Pack Master(パックマスター)の特長】

- クラス最大級の収容量(荷箱容積)
- ハイマウントリアパネル(注意を促し、鈍重な印象を払拭)
- スマートボディ(狭所での走行性を向上)
- 積込力アップ(従来車両より小型ワイド20%UP、中型9%UP)

## Design Conscious × Garbage Truck

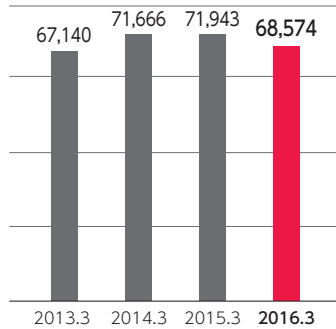
— 塵芥収集車両の新しい指標を創造する 実用性×フォルムデザイン —



## 財務ハイライト(連結)

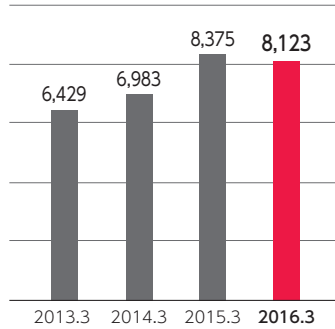
### 売上高

単位:百万円



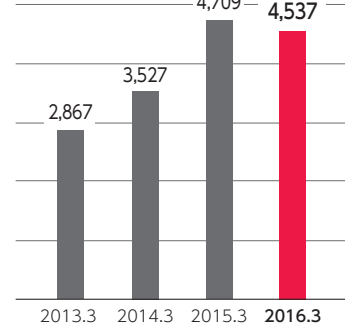
### 経常利益

単位:百万円



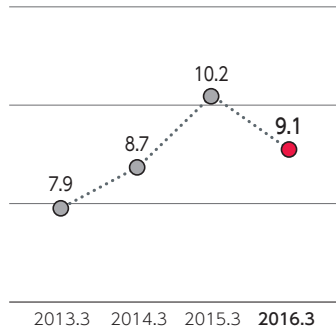
### 親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



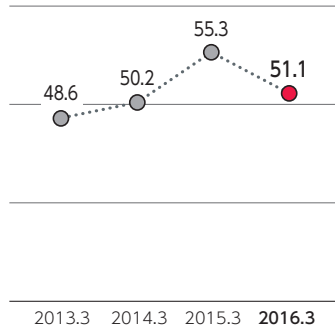
### 自己資本当期純利益率(ROE)

単位:%



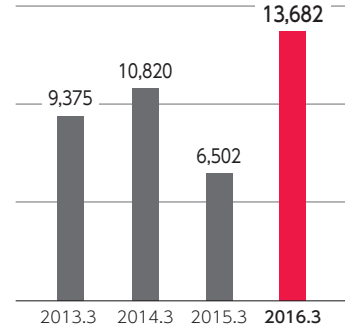
### 自己資本比率

単位:%



### 有利子負債

単位:百万円



## セグメント別概況

### 防災事業

売上高 ↑ 前期比 8.2%増  
 セグメント利益 ↑ 前期比 16.3%増



パッケージ型自動消火設備「スプリネックス」の販売が順調に推移した結果、増収増益。

### 消防車両事業

売上高 ↓ 前期比 14.4%減  
 セグメント利益 ↓ 前期比 26.9%減



高いマーケットシェアを維持するも、国内需要が端境期のため減収減益。

### 環境車両事業

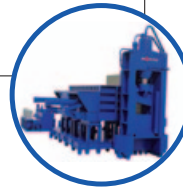
売上高 ↑ 前期比 1.7%増  
 セグメント利益 ↑ 前期比 45.8%増



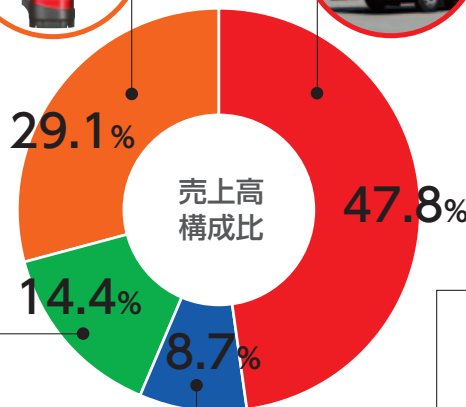
需要が堅調に推移したことと原価低減を進めた結果、増収増益。

### 産業機械事業

売上高 ↑ 前期比 8.4%増  
 セグメント利益 ↑ 前期比 86.8%増



製品の受注及び販売が順調に推移し、増収増益。



売上高  
構成比



## 会社・株式情報

商号	株式会社モリタホールディングス
創業	明治40年4月23日
設立	昭和7年7月23日
資本金	47億4,612万円
大阪本社	大阪市中央区道修町3丁目6番1号
東京本社	東京都港区西新橋3丁目25番31号
事業内容	グループ各社の事業活動の支配・管理及び管理間接業務の受託

## 役員

代表取締役会長兼CEO	中島正博
代表取締役社長	尾形和美
取締役	前嶋幸広
取締役	松尾徹
取締役	磯田光男
常勤監査役	浅田栄治
常勤監査役	佐々木純
常勤監査役	高野祐介
監査役	太田将
執行役員	浦野ヒロ子
執行役員	坂本直久
執行役員	金岡真一
執行役員	村井信也

## 株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 <a href="http://www.morita119.com/kohkoku/index.html">http://www.morita119.com/kohkoku/index.html</a>
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(インターネットホームページURL)	<a href="http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html">http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html</a>
上場証券取引所	東京証券取引所
1単元の株式数	100株

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

### 【大阪本社】

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号  
☎06-6208-1907

### 【東京本社】

〒105-0003 東京都港区西新橋3丁目25番31号  
☎03-5777-5777

<http://www.morita119.com>

人と地球のいのちを守る

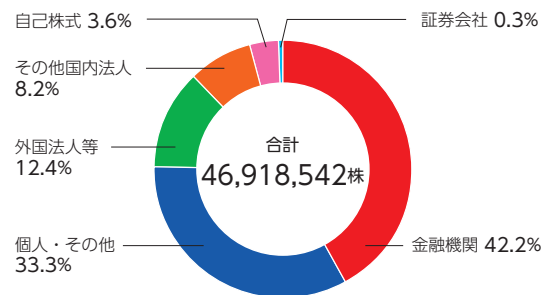
**MORITA**  
株式会社モリタホールディングス

## 主要グループ会社

株式会社モリタ	兵庫県三田市テクノパーク1番地の5 はしご車、消防ポンプ車、その他各種消防車両並びに特殊車両の開発・製造・販売
モリタ宮田工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市下町屋1丁目1番1号 消火器を中心とした消火関連機器、消火装置、その他各種防災機器・設備の開発・製造・販売
株式会社モリタ環境テック	千葉県船橋市小野田町1530番地 リサイクル処理施設、その他各種ゴミ処理施設の設計施工並びに各種大型油圧機械の開発・製造・販売
株式会社モリタエコノス	大阪府八尾市神武町1番48号 衛生車、塵芥車等の環境保全車両の開発・製造・販売
株式会社モリタテクノス	兵庫県三田市テクノパーク32番地 消防車両・救助用資機材等のアフターサービス・メンテナンス並びに電子応用機械器具・情報処理機械器具の開発・製造・販売
BRONTO SKYLIFT OY AB	フィンランド共和国 タンペレ市 屈折はしご付消防車及び高所作業車の開発・製造・販売

## 所有者別株式数分布状況

2016年3月31日現在



## 大株主(上位10名)

2016年3月31日現在

株主名	持株数(千株)
第一生命保険株式会社	3,265
モリタ取引先持株会	2,495
株式会社みずほ銀行	2,087
三井住友信託銀行株式会社	2,082
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,048
株式会社三井住友銀行	2,007
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,759
エア・ウォーター株式会社	1,730
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE-HCROO	1,557
モリタ従業員持株会	910

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 当社は自己株式 1,678千株を保有しております。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。